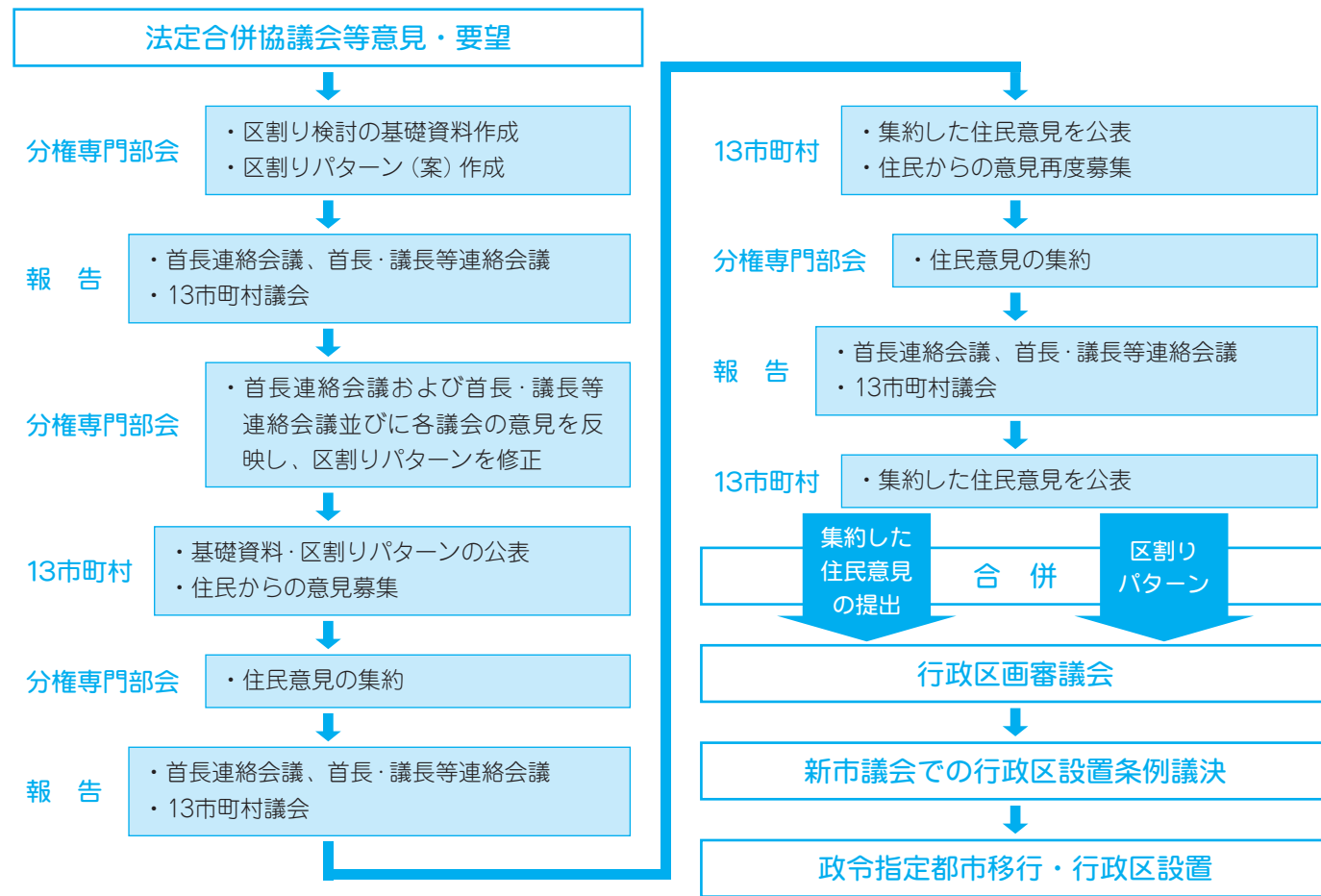


●区割り検討の進め方



専門部会の中継報告と 教育行政のあり方

このたびの市町村合併にあたっては、合併協議会での協議とともに、特に重要な行政課題について、担当職員による専門部会などでの検討が行われています。
これまでに協議会で示された部会の中継報告などについて、概要をお知らせします。

分権専門部会

新市が政令指定都市となった場合の区役所のあり方や、区割りの基準・方法などについて検討しています。

●区役所の機能の目指すべき方向

区役所の主な事務事業	本庁の主な事務事業
<ul style="list-style-type: none"> 区のみちづくり計画の策定 住民登録、市税、証明書の発行、保健福祉など区民に身近な各種行政サービスの提供 区民が日常的に利用する施設の管理 自治会・地域団体の育成、支援や地域の伝統文化などの振興、身近な道路・公園の管理などまちづくりに関する事務事業 区政の広報広聴 	<ul style="list-style-type: none"> 市の総合計画の策定 全市一律に提供する行政サービスの計画、実施、調整 全市的な公共施設の管理 区域を越えて活動する団体の育成、支援や産業振興、都市計画、道路、下水道など市域全体に及ぶ事務事業 市政の広報広聴 国、県との連絡調整

区民の区政への参画

区民や住民自治組織、NPOなどの地域におけるコミュニティ組織の意見を反映させる組織の設置を検討するなど、区民の区政への参画を目指す。

区長への分権

区域のことは区役所で対応できるよう、区の特徴あるまちづくりの推進に必要な予算、契約などの執行権限や一定の職員人事権の区長への委譲を検討する。

●区割り基準の基本的な考え方

市町村界

合併後に移行する政令指定都市の行政区の設定にあたっては、合併関連市町村の境界や支所・出張所の区域を尊重しつつ、他の項目を加味しながら総合的に検討する。

人口規模・面積規模

現在指定されている、政令指定都市の行政区画設定基準()などを参考としながら、公平で均衡ある行政サービスを提供でき、適切な行政効率を確保することができる規模であり、かつ、行政と市民の協働のまちづくりを推進するために地域の一体感や区民意識の醸成を図りうる規模となるよう考慮する。

ただし、広い範囲に人口集積地が点在する新市の実情を考慮し、画一的な取り扱いではなく、柔軟に対応する。人口は1区あたり10～20万人、面積は区を中心などへ時間距離にして約30分としているところが多い。

地形・地物

誰でもが認識しやすく、社会生活上の大きな分断要素でもある、河川などの明瞭な地形地物を行政区の境界とするよう考慮する。

歴史的沿革・地縁的つながりなど

市民との協働により、地域の個性や特性を生かしたまちづくりを進めるため、区民の一体感の醸成を図る必要があることから、地域における同質な伝統や文化、各地域の歴史的沿革や地縁的つながりを考慮する。

その他

住民自治組織などの地域コミュニティや町字、小中学校の通学区域について必要に応じて考慮する。

また、郵便局・警察署などの所管区域地域の土地利用、交通体系および都市計画などの状況についても、必要に応じて考慮する。

交通専門部会

各地域の拠点を結ぶ交通や各地域内の交通など、新市の重要な課題となる交通体系の確立について検討しています。

●新たな交通システムについて

交通システムや他都市の事例などについて研究を重ね、各方面の基幹軸や交通特性にふさわしい整備手法を幅広く探る。

導入空間や将来の採算性などが大きな課題であり、相

当長期的な検討が必要となることから、短期あるいは中期的な視点で基幹交通の確保を探すことも必要である。

(例)・新たな交通システムの導入検討

・ITS(1)などを用いた基幹的バスの運行検討

●TDM施策の推進について

TDM(2)は、関係機関で設置した委員会で方面別のパーク&ライドを検討し、実験あるいは導入に向けた施

策を展開していく。

●新市の道路網について

道路網の基本体系

都心地域と各地域を連絡する「放射状道路」と地域間を連携する「環状道路」から構成される「放射・環状型の道路網」を基本体系とする。

・放射状道路：国道7号、8号、49号、116号、403号

・環状道路：大外環状道路・国道460号(周辺市町村連絡道路)

各市町村の道路など(連絡道路)の位置付け

各市町村の道路など(連絡道路)の位置付けについて

は、今後新市の「放射・環状型の道路網」の骨格をなす国道などを補完する重要な道路であり、必要に応じて総合交通体系のマスタープラン(パーソントリップ調査)に位置付けを働きかけるとともに、新市の新総合計画への反映に努める。

新潟大外環状道路は、幹線道路の中でも合併市町村の連絡を図る上で重要な道路であり、国・県・市の役割分担を図りながら未整備区間の早期整備を進めていく必要がある。

1(ITS：高度道路交通システム)...ETC(道路料金自動徴収システム)などの道路の高度情報化

2(TDM：交通需要マネジメント)...車の利用方法などによって交通量を削減するなどの、交通需要に対する管理